

LOMスローガン

## Pleasure

～人材のため、地域のために尽くすことが私たちの最大の喜び～

### 【はじめに】

私たちの住む栃尾地域は、1年を通じて四季折々が様々な姿で私たちに活力を与えてくれる地であります。春に雪解け水が新たな自然の息吹を創り上げ、夏には自然の息吹が活気づき、秋に自然が創り上げる様々な作物や風景が私たちを癒し、冬には降雪によって、普段の景色に変化をもたらしてくれています。そしてその自然は、幼少期より私たちを時には厳しく、時には優しく育ててくれました。これからも私たちの成長を見守ってくれた栃尾地域と共に生き、栃尾地域に尽くすために、様々な運動・活動を実践して参ります。

### 【50周年を迎えて】

1968年10月9日、スポンサーLOM現・公益社団法人十日町青年会議所の方々の支援、そして先輩諸氏の多大なるご尽力により、全国402番目のLOMとして栃尾青年会議所が私たちの故郷栃尾地域に創設され、1969年4月5日に日本青年会議所より承認を受けました。栃尾青年会議所創立以来、常に栃尾地域に於ける様々な時代のニーズに合わせた地域活性運動や、活性に向けた活動を起こすために個々の資質向上を一心不乱に実施し続け、創始の想いから私たちに継承してきました。地域に根付き必要とされる団体として半世紀渡り続け、栃尾地域から必要とされる団体として弛まぬ努力を続けられてこられたことに最大の敬意を感じます。私たちが活動できる事も、その努力の礎を築いてこられたからこそ成り立っているのです。

また、栃尾青年会議所の歴史は、先輩諸氏が脈々と受け継いできた志は勿論のこと、行政、各諸団体のご協力なくして語られません。多くのご支援とご理解を賜る事で、新たな運動を実施し続けてこられたと考えられます。この関わりは、私たちにとって財産であり、改めて、これまでご協力して下さった方々へ心から感謝します。

本年度は、私たちを支えて下さった関係各位への感謝の意と新たな決意を示すために記念事業を開催すると共に、新たな歴史を創り続けて行くためにも私たちの想いとこれまで受け継がれてきたJayceeとしての熱き情熱を次世代へ繋いで参ります。

### 【会議体の在り方を再確認し、皆が力を発揮できる組織を】

先輩諸氏より引き継がれてきた事業を行うに当たり、各会議体の充実は必要不可欠です。本年度も、委員会、理事会、例会、総会、また理事会にて承認された会議体を活用し、様々な事業構築を行って参ります。そのためには皆が遠慮せず意見を交わし、互いに尊重し合うことが重要であると考えられます。経験者の言葉は勿論一言の重みというものがありますが、未経験者ならではの新鮮な意見も存在します。私たちは、限られた時間を最大限に活用し運動を展開していますが、だからこそ其々が常に謙虚な姿勢で議論を交わす者同士が感謝と敬意を念頭に置く必要があります。それが会議の活性、延いては互いの信頼関係の向上となり、実施前の計画、その後の検証、そして各事業で必要な予算管理の徹底に繋がって行くと確信します。そして、それぞれが業務する事業所活動に役立てることで、青年会議所に所属している「喜び」が更に感じられるのではないのでしょうか。個々の成長のために、組織の活性のために、地域の発展のために、多くの意見を皆で出し合いましょう。

### 【個々の向上は組織の喜び】

現代社会は経済不況、少子化問題、また生まれてくる子どもたちの生活環境など様々な問題に侵されています。私たちはそんな時代情勢を的確に感じ取り様々な事業を構築していかなければなりません。しかし、事業構築に当たり、個々の資質がなければ満足な運動も展開できないと考えます。JC三信条の一つにも謳われている「修練」に則り、私たちは自ら学びの場を構築し、自らを研鑽して行く場を作り続けていく必要があります。そのために、本年度の定例の会議体を活用しそれぞれの成長に向けた事業を行っていきます。私たち一人ひとりが更にステップアップして行くことは、組織の活性化、延いては質の高い事業構築にも繋がっていくとも考えられます。

また、他者との交流も積極的に行い、私たちと他団体の方々と情報共有し、様々なことを学びこれからの活動に役立てなければなりません。外に出ることは多少の勇気が必要かもしれません。しかし、新たな場に足を運ぶことで、思いがけない出会いも待っているはずです。そして様々なことを語り、互いに吸収し合うことで私たちでは考えられなかった、地域活性に向けたヒントも見つかるはずです。

時代を創り続ける私たちが、地域の魅力やJCの魅力を学び認識し、更に自身を高めていく気概を持てばより質の高いJC運動を展開できるはずです。それが個々の成長となり組織の活性にも繋がっていくと確信します。そのためにも様々な交流の場へ積極的に参加し、組織の成長のために行動して行きましょう。

### 【地域の喜びのために】

現在、自分たちが住む故郷に誇りを持つ方がどれだけいるのでしょうか。全国的不況が確実に私たちの住む故郷にも影響を及ぼし、この地では未来を感じられず都会へ移住する家族や、地域外に拠点を移す事業所も少なくありません。しかし、私たちは衰退に歯止めがかからない状況下であっても、希望を失わず常に前向きな姿勢で、明るい豊かな社会の実現に向け確固たる気概を持ち、率先して新たな時代を創り続けなければなりません。

先人より受け継がれてきた、栃尾地域の歴史、魅力を確実に伝播することで、住んでみたい町、行ってみたい町へと変貌を遂げるはずです。地域に根づく青年経済人として、この重要課題に全力で取り組み、地域の「喜び」を創造して行きましょう。

### 【会員増強は組織に於ける最重要課題】

栃尾青年会議所は、全盛期には50人を超える在籍数で活動していました。しかし全国的な経済不況からの次世代経営者の不在、若者離れが影響し、会員拡大にも大きな影響として出てきています。平成28年度調べとして、栃尾地域の総人口が18,210名、その内20歳～39歳までの青年人口が1,163名と圧倒的に少ない状況です。本年度は17名と辛うじて活動できる人数かもしれませんが、6名の卒業が予定されており、今後の活動が危ぶまれています。私たちはこの危機的状況を先ず念頭に置き、会の増強に努めていかなければなりません。

会に所属する青年経済人が、年齢の枠を超え一堂に会し、地域活性に向け多くの言葉を交わし行動を起こすことで私たちの「楽しさ」ある活動が地域の住民へと伝播され、地域から必要とされる団体へと繋がっていくと確信しています。そのためにもメンバー一人ひとりが会の魅力、活動できる喜びを再確認し、候補者へ伝え結果として残していかなければなりません。この出会いは、LOM内だけでなく地域内の出会い、更には県内各地の同志との巡り合いにも繋がっていきます。私たちは組織に所属する一員としての自覚と責任を持ち、1人でも多くの同志を募るために、この喫緊の課題に取り組んで参ります。

### 【Pleasure】

私たちは、栃尾青年会議所に所属し様々な運動を展開してきました。時には私たちに試練を与えるかのように、困難にも直面することもありました。そんな時にも、互いに励まし合い何度でも立ち上がり多くの議論を交わし、事業遂行に向けメンバー一丸となり乗り越えてきました。そして、その先に見ることのできる地域の「喜び」、住民の皆様の笑顔に触れることが私たちの原動力となり、この瞬間まで行動し続けてきたと考えられます。今後もその景色を見るこ

とが、地域発展に向け活動を行っている私たちにとって最大の「喜び」ではないのでしょうか。そして栃尾地域から我々の存在価値を更に高めると同時に、互いに苦勞を分かち合う絶対的な仲間との絆を深め合いましょう。

会に所属するメンバー一人ひとりが精一杯汗を流し、新たな「喜び」を創り上げるために、失敗に臆することなく行動し続けることが、明るい豊かな社会の実現に、また一歩近づいていき、一つひとつの行動が私たちの活動の「楽しさ」となり、後の活動を行う上での自信へと繋がってゆき、結果その行動が魅力ある人材へと成長させてくれるのです。全ての活動を心から楽しみましょう。私たちだけではなく、活動に関わる方々にも「楽しさ」が実感できる様に努めて行きましょう。そう実感することで自然と笑顔と「喜び」が溢れます。笑うことは心を穏やかにし、気持ちを高め、個々のエネルギーを高める効果を持っています。毅然とした態度の中でも笑顔を絶やさず、ひたむきに活動してゆくことで、接する方々への相乗効果となり、それが地域の発展となり住民の「喜び」へと転化してゆくと確信します。

#### 【おわりに】

本年度、平成の時代が終わり、新たな時代が幕開けします。まだ見えぬ未来に些かの不安もありますが、私たちは常に挑戦し続ける団体でなければなりません。待っていても明るい未来は来ません。私たちが地域の未来を創造するために、率先して行動していきましょう。青年会議所は40歳で卒業と決められているからこそ、その期間を精一杯、地域貢献のために運動を展開して行くことが、私たちの存在意義にも繋がって行きます。青年としての英知と勇気と情熱をもち、栃尾地域に私たちの活動を発信し、栃尾地域の「楽しさ」と「喜び」を創造し、これからも地域と共に成長して行きましょう。

#### 【活動方針】

- 一、他者にも我々にも「楽しさ」と「喜び」が感じられる事業の展開
- 一、年間を通し全ての活動を高出席率にて展開
- 一、円滑な会務の運営
- 一、成長のための学びの場の提供
- 一、会員拡大こそ私たちの最大の課題